

# 川崎市立向丘小学校いじめ防止基本方針

## 1 令和8年度 学校経営計画

### かわさき教育プラン

めざすもの【一人ひとりが輝き、共に未来をつくる】

みんなと共有したい価値観【一歩、踏み出す】【自分の幸せ みんなの豊かさ】【多様性を可能性へ】

### 学校教育目標

一人ひとりが かがやく 向丘小学校

・自ら学ぶ子 ・つながり合う子 ・すこやかな子

### こんな児童に

(知)

すすんで学習する子

- 1 基本的な知識・技能や表現する力をもつ
- 2 自ら課題を見つけ進んで学習する
- 3 豊かな感性と想像性をもつ

(徳)

思いやりのある子

- 1 自尊感情をもち、他者理解、他者受容ができる
- 2 協力的な社会性と奉仕の精神をもつ
- 3 集団の一員としての規範意識をもつ

(体)

心も体もつよい子

- 1 いきいきと前向きに生活できる
- 2 自分で考えて行動し、責任をもつ
- 3 より健康な体をつくろうと努力する

(食)

食を大切にする子

- 1 正しい食習慣をもちバランスのよい食事をする
- 2 食物や食物にかかわる人に感謝する
- 3 食を通して地域への理解を深め愛着をもつ

### 実現に向けて

わかる・できる授業と一人一人を大切に学習指導の充実

人とのかかわりを大切に心豊かな学校生活の創造

明るく元気で、安心・安全に過ごせるような生活習慣の育成

食を大切にし、バランスのとれた食生活の継続

### 今年度の重点

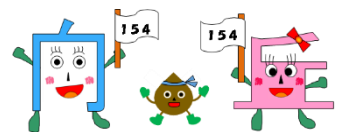
一人ひとりを大切に、かかわり合いながら学ぶ姿勢を育む

- ・研修や自主研究等により授業力向上に努め、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、「わかる・できる授業」を目指します。
- ・生活・総合の校内研究推進を軸として、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善に取り組みます。
- ・ICT活用を積極的に進め、情報活用能力の育成に努めます。
- ・読書活動の充実に努めます。
- ・個に応じたきめ細やかな学習指導を行います。

- ・特別活動を中心に、自己実現、人間関係形成、社会参画の力の育成に向けて取り組みます。
- ・多様なかかわりを通して、思いやりや感謝の心、自他を尊重する心を育てます。
- ・一人一人に寄り添い児童理解を深めます。
- ・向丘小学校の約束を守ることを通じて規範意識を育てます。
- ・整理整頓、清掃指導、美化活動を充実し、きれいな学校をつくりまします。

- ・体育の授業、健康教育や「キラキラチャレンジ」を通じて、児童自らが健康に関心をもてるようにし、丈夫な心と体を育成します。
- ・心を通わせられる挨拶を大切に、一日明るく元気に過ごせるようにします。
- ・「自分の身は自分で守る」という意識を防災・防犯・交通安全教育を通して育てます。

- ・給食時間、特別活動、各教科の時間などを通じて、学年段階に応じた食育を推進します。
- ・学校保健委員会や給食だよりを通じて、家庭・地域においても食育に対する理解が進み、食育の取組が推進されるように働きかけます。



教職員が心身ともに健康に働き、児童と向き合える環境をつくる。

教育後援会・同窓会・ボランティア・地域住民・保護者など、学校を支えてくださる全ての方々とともに学校づくりを進める。

## 2 「学校いじめ防止基本方針」策定の目的

いじめはどこの学校や集団にも、どの児童生徒にも起こりうる問題であり、いじめを次に示す定義のように捉えることは、いじめの行為があったかどうかを学校が判断し、法的な責任を負うことをねらいとするものではなく、いじめられている児童生徒の救済を第一にして対応するものです。そのために、学校は一人ひとりの児童との信頼関係を築きながら、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組むために「学校いじめ防止基本方針」を策定します。

## 3 いじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含みます。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいいます。

## 4 学校が実施する取組

### (1) いじめの未然防止の取組

いじめを未然防止するには、いじめが発生しにくい学校の風土づくりが基本となります。教職員は児童生徒の理解を深め、信頼関係を築くとともに、一人ひとりを大切にしたい授業を実践するように努めます。また、あらゆる教育活動を通じて、他人を思いやる心や正義を重んじる心などの豊かな人間性をはぐくみます。

#### ①学校体制を確立し、環境を整備します

いじめは絶対に許されないという共通認識に立ち、全教職員で児童生徒を見守っていくためには、いじめの予兆や悩みがある児童生徒を見逃さないしくみづくりや、インターネット上のいじめの防止、問題解決のための組織づくりをするとともに、相談活動がしやすい環境づくりや教職員の計画的な研修の実施など、学校体制を確立します。

#### ②児童生徒の心を受け止められる感性を磨き、教職員としての人間性を高めます

教職員自身が児童生徒から信頼されるよう自己研鑽し、人間性を高めるよう努力することは教職員としての基本です。児童生徒を一人の人間として尊重し、児童生徒の気持ちを理解し、児童生徒と感動を共有することができるか、自分の心が一人ひとりの児童生徒に向かって開いているか、絶えず自問します。

#### ③児童生徒一人ひとりが生きる教育活動と効果的な学習活動を実践します

学校生活の大半を占める授業を「学ぶ楽しさ」が味わえる充実した時間にすることで、児童生徒は前向きに学校生活を送ることができるようになります。また、学校行事や体験活動などを工夫し、充実を図ることで他者と深く関わる経験を重ね、他者への思いやりや対人スキルを身につけさせます。

#### ④児童生徒の自浄力を育てます

児童生徒自身に「自浄力」を身につけさせることは、未然防止のなかでもっとも重要です。児童生徒の自主的、主体的な活動が、「いじめをやめさせたいと思う児童生徒」を育て、いじめを抑制します。自校に誇りをもたせ「自分たちの学校ではいじめは許されない」という気運を高めていきます。

### (2) いじめの早期発見

いじめの発見が遅れると、いじめの内容がエスカレートするばかりでなく、関わっている児童生徒が増加して関係が複雑になり、解決が困難になります。「いじめは見ようとしなければ見えない」と言われます。深刻な事態を招かないためにも児童生徒のわずかな変化を手がかりに、早期発見に全力を尽くします。

#### ①日常のきめ細やかな観察をします

普段の授業における児童生徒の顔色や姿勢、学習態度などは、児童生徒の理解を深める大切な情報です。また、授業以外のさまざまな場面での言葉づかいや行動、表情、視線、声をかけたときの反応を観察します。

#### ②相談体制を整備します

学校における教育相談体制を確立し、児童生徒や保護者に啓発することによって、いじめられている児童生徒や周りの児童生徒が相談しやすい環境をつくります。

#### ③定期的なアンケート・チェックシートを実施します

定期的な学校生活アンケートや教職員用のチェックシート等を活用し、児童生徒の状態や指導法を客観的に把握し、いじめの早期発見につなげていきます。

### (3) 校内いじめ防止対策会議の設置

校内いじめ防止対策会議（以下、「対策会議」という）は、いじめの防止等の中核となる組織として、校務分掌に位置づけ、「学校基本方針」に基づく取組の実施や具体的な年間計画の作成・実行・検証・修正等を定期的（いじめを認知した場合には状況に応じて）に行い、校内いじめ対策ケース会議の情報を共有します。

### (4) いじめへの対処

いじめの対応を担任一人だけで行うと、解決を遅らせ事態を悪化させる恐れがあります。いじめを認知した、またはその疑いがあった時点で全教職員に周知し、多方面からの確・迅速に対応する必要があります。さらに保護者への対応についても誠意を尽くし、問題解決に向けて信頼関係と協力体制を確立します。

#### ①校内いじめ対策ケース会議の立ち上げ

いじめの疑いがある情報があったときには、管理職、及び児童生徒指導担当者・支援教育コーディネーター等の当該事案に関わりのある教職員で構成された校内いじめ対策ケース会議（以下「ケース会議」という）を迅速に立ち上げ、個人情報に配慮しながら、いじめの情報の迅速な共有、いじめに関する情報の収集と情報共有、事実確認の方法や役割分担の確認、対応方針及び支援・指導体制の決定をし、解決に向けた支援・指導を行い、保護者との連携を管理職のリーダーシップのもと組織的に実施します。また、状況に応じて当該事案の対応方針及び支援・指導体制の見直しを行います。

#### ②いじめられた児童生徒への支援

- もともと信頼関係ができていた教職員が対応し、「最後まで絶対に守る」という意思を伝えます。
- 児童生徒の意向を汲みながら、学校生活の具体的なプラン(登下校の方法など)を立てます。
- 心のケアや登下校・休み時間の見守りなど、安全で安心できる環境づくりに努めます。

#### ③いじめた児童生徒への指導

- よく事情を聞き、いかなる事情があっても、いじめることはいけないことだと教え、同じことを繰り返さないように伝えます。
- いじめた行為そのものは、よくないことと理解させつつ、相手に対して心身の苦痛を与えるような結果になってしまった理由を考えさせ、どこがいけなかったのか、どうしたらよかったのかを考えさせます。
- いじめに至った要因や背景を踏まえ、立ち直りに向けた相談活動や指導を継続的にを行います。

#### ④周囲の児童生徒への指導

- はやしたてたり、見て見ぬふりをしたりするのは、いじているのと同じだということを理解させます。
- いじめを防ぐことができなかったことを見つめなおさせ、再発を防ぐための具体的な手立てを指導します。
- 必要に応じて学級、学年さらに学校全体に広げて再発防止へ向けた指導を行います。

#### ⑤保護者への対応

- いじめに関係した児童生徒の保護者には迅速に事実を伝え、ケース会議で決定した指導方針と対応策を示すとともに、いじめ解消に向けて協力を要請します。
- 解消するまで学校が主体性を発揮し、解消後も定期的に児童生徒の学校や家庭での様子を保護者と情報交換し、経過観察を行います。

## 5 重大事態への対処

### (1) 重大事態の意味

次に該当する場合を重大事態といたします。

- ① いじめにより児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき。
- ② いじめにより児童生徒が相当の期間、学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき。

「いじめにより」とは、①②に規定する児童生徒の状況に至る要因が当該児童生徒に対して行われるいじめにあることを意味します。

①の「生命、心身又は財産に重大な被害」については、いじめを受ける児童生徒の状況に着目して判断します。例えば、

- 児童生徒が自殺を企図した場合

- 身体に重大な傷害を負った場合
- 金品等の重大な被害を被った場合
- 精神的な疾患を発症した場合

などのケースが想定されます。

②の「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とします。

ただし、児童生徒が一定期間、連続して欠席しているような場合には、上記目安にかかわらず、教育委員会又は学校の判断により、迅速に調査を行います。

また、児童生徒や保護者からいじめにより重大に被害が生じたという申し立てがあったときは、その時点で学校が「いじめの結果ではない」あるいは「重大事態とはいえない」と考えたとしても、重大事態が発生したものとして報告・調査等に当たります。

## (2) 事実関係を明確にするための調査の実施

学校は、重大事態に至る要因となったいじめ行為が、いつ（いつ頃から）、誰から行われ、どのような態様であったか、いじめを生んだ背景や児童生徒の人間関係にどのような問題があったか、学校・教職員がどのように対応したかなどの事実関係を、可能な限り網羅的に明確にします。

なお、この調査は、民事・刑事上の責任追及やその他の争訟等への対応を直接の目的とするものでないことは言うまでもなく、学校が事実に向き合うことで、当該事態への対処や同種の事態の発生防止を図るものです。

## 6 いじめ防止対策組織・役割分担

【校内いじめ防止対策会議の構成】（校務分掌に位置付ける）

校長、教頭、教務主任、支援教育コーディネーター、各学年主任、  
児童指導担当、養護教諭、スクールカウンセラー、総括教諭

【いじめ防止対策の企画・運営】

- ・学校運営（学校評価）におけるいじめ防止に関する目標の設定・検証・・・（校長・CO・教務）
- ・いじめ防止対策年間指導計画の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（CO・児童指導担当）
- ・いじめ防止指導研修会の企画、運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（CO・児童指導担当）
- ・いじめ問題に関する資料の管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（CO・児童指導担当）
- ・道徳教育との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（道徳主任・教務）
- ・学校いじめ防止基本方針の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（校長・CO・児童指導担当）

【教育相談】

- ・教育相談のねらい・年間計画の作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（CO・教務・児童指導担当）
- 1年・・・・・・・・・・・・・・・・（学年主任）                    2年・・・・・・・・・・・・・・・・（学年主任）
- 3年・・・・・・・・・・・・・・・・（学年主任）                    4年・・・・・・・・・・・・・・・・（学年主任）
- 5年・・・・・・・・・・・・・・・・（学年主任）                    6年・・・・・・・・・・・・・・・・（学年主任）
- すみれ・・・・・・・・・・・・・・・・（学年主任）
- ・相談室窓口、相談室の管理、運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（CO・児童指導担当）
- ・スクールカウンセラーとの連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（CO・養護）

【児童・保護者・地域との連携】

- ・児童会・計画委員会との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（児童会担当）
- ・PTA校外委員会との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（教頭・教務）
- ・地域教育会議との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（教務・地域教育会議担当）

【関係機関との連携】

- ・警察との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（校長・教頭・CO）
- ・児童相談所との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（校長・教頭・CO）

7 いじめ防止等対策年間計画

月	活 動 内 容（校内いじめ防止対策会議・児童生徒指導部会・職員会議等）
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針・重点目標の確認</li> <li>・構成員の確認・役割分担</li> <li>・年間指導計画確認</li> <li>・いじめの未然防止、早期発見・早期対応方法等についての研修</li> <li>・かわさき共生＊共育プログラムの取組について</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・第1回学校生活アンケート実施に向けた内容検討・実施</li> <li>・学校生活アンケート集約について</li> <li>・教育相談週間の実施</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・学校生活アンケート結果を受けての対応について</li> </ul> <p><b>【児童生徒指導点検強化月間】の取組</b>  <b>（具体的な内容→人権について考える）</b></p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・夏休み期間中の対応確認</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・いじめ防止対策に関する研修会</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・前期の反省とまとめと後期の具体的な取組の確認</li> <li>・教育相談週間の実施</li> <li>・携帯・スマートフォン教室実施</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・第2回学校生活アンケート実施に向けた内容検討</li> <li>・学校生活アンケート集計について</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・学校生活アンケート結果を受けての対応について</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・教育相談週間の実施</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> </ul>
2	<p><b>【学校体制振り返り月間】の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・今年度の反省→学校評価への反映</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況報告と指導経過・今後の方針についての確認</li> <li>・来年度に向けての基本方針の見直し</li> </ul>

◎本校のいじめ防止に向けた取組

児童・生徒の自主的な取組

[自主的な企画・運営]

- ・児童集会での呼びかけや人間関係づくりの集会
- ・児童会が中心となって行うあいさつ運動
- ・各行事での心と力を合わせての自主的な取組

[交流活動の活性化]

- ・縦割り活動
- ・クラブの立ち上げから、発表場面での異学年交流
- ・委員会活動（SDG s への取組・募金活動・飼育・栽培・音楽の交流等）
- ・小中連携活動（平瀬川での清掃、中学校体験、地域教育会議での交流）
- ・町内会・子ども会など地域行事での交流活動

[啓発活動]

- ・やさしい言葉集め等
- ・児童会の年間テーマの設定、掲示

保護者の取組（PTA 活動）

- ・広報誌での呼びかけ

地域住民の取組

- ・地域での見守り活動
- ・地域との定期的な情報交換
- ・学校運営協議会